

スクールインターンシップを終えて

文化情報学部 3年次生

1. はじめに

私は2021年度スクールインターンシップを履修しました。2021年9月3日(金)～11月19日(金)までの毎週金曜日(計12回)に、京田辺市立培良中学校で研修生として活動しました。活動時間は毎回およそ8時20分～16時00分でした。本レポートではその応募理由、研修内容、振り返っての所感について主に述べたいと思います。

2. 応募理由

私が応募した理由は大きく分けて2つあります。まず、私が中学生だった頃との違いを早く知りたいという理由です。私は中学校の教員を目指しています。私が中学校を卒業してから、6年ほど経っています。学習指導要領が改訂されたことや、ICTの導入や新型コロナウイルスの流行などの影響により、私が経験した中学生活とは大きく変化しています。次に、私の教員という夢を確かめるためです。大学で教職科目を履修していく中で、教員の夢が揺らぐことがありました。実際の学校を見てみて、教員の夢が確かなものであるかを自分に問いたいと思いました。

3. 研修内容

私は毎週異なるクラスに参加させていただき、1日1クラスを主に見学させていただきました。専門が数学なので、数学がない時間帯の授業はそのクラスの授業を見学させていただくという形でした。主な研修内容は、朝学活、授業、終学活、部活の見学と、数学をはじめとした授業の机間指導、清掃、教室での黙食、数学のプリント作成でした。研修期間に中間試験があったので試験監督や、受験が近づいてきたので放課後学習にも参加させていただきました。

4. 研修を振り返って

研修内容は非常に充実しており、毎回の研修で成長を実感することができました。中学生との触れ合いも楽しむことができました。苦勞したことは未経験だったプリント作成と、通勤時間が2時間と長いので朝の移動でした。

応募理由であった、私が中学生だった頃との違いを強く感じるすることができました。iPadをはじめとしたICT機器の活用や黙食を目の当たりにしました。また、現場の雰囲気や先生との対話、中学生との触れ合いを通して、私はスクールインターンシップ履修前よりも、教員の夢が確固たるものとなりました。

5. 最後に

スクールインターンシップは、教員を目指す可能性がある人にとって非常に有意義で、きっと今後の指針を決める研修となります。研修を申し込むことに、勇気が必要な人もいるかもしれませんが、しかし、その勇気が今後の方針を決めてくれると信じ、是非履修して欲しいと思います。